

科目名(単位数)	対象年次	履修	期別	必要面接時数	レポート数
情報 I (2)	原則1年次	必修	通年	4	6
科目の概要	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための知識や技術を学習する科目です。				
科目の目標	1. 効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 2. 様々な事象を情報とその結びつきとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 3. 情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。				
	学習内容	到達目標	スクリーニング 回	レポート 回	試験 範囲
年間学習計画・学習のねらい	情報社会と問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ，情報，知識の違いを理解できる。</li> <li>問題を明確化して解決への手順を示せる。</li> <li>情報化の光と影について理解し，正しく判断できる。</li> </ul>	1	1	前期
	コミュニケーションと情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションの各種の分類や形態を理解できる。</li> <li>情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解している。</li> </ul>	2	2 3	
	情報システムを支えるデータベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報システムにおけるデータの重要性を理解することができる。</li> <li>社会における主な情報システムの種類と内容について理解している。</li> </ul>	3	4 5	後期
	アルゴリズムとプログラミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>フローチャートやアルゴリズムの基本構造について理解している。</li> <li>プログラミングを通して，Web上に情報を発信することができる。</li> </ul>	4	6	
評価方法	年度末の成績評価は，下記のとおり行う。 スクリーニング時の態度15% レポートの得点50% 前後期試験の得点35%				
単位修得	スクリーニング：年間4回出席すること。学習意欲，学習に対する姿勢など レポート：前期3枚，後期3枚提出し，合格すること。 試験：前期・後期試験を受けること。				
使用教科書等	実教出版株式会社 『高校情報 I JavaScript』 萩谷昌己 著				
学習上の留意点	教科書をよく読み，レポート，試験ともに丁寧に解答する。乱雑な書き方では採点されないこともあります。				